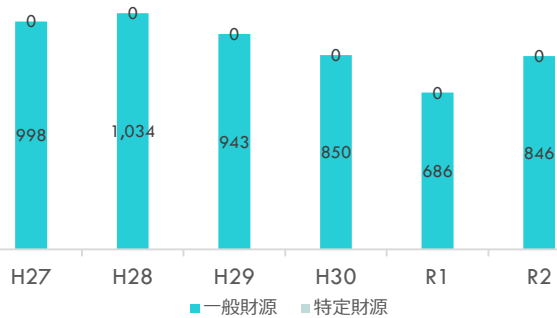
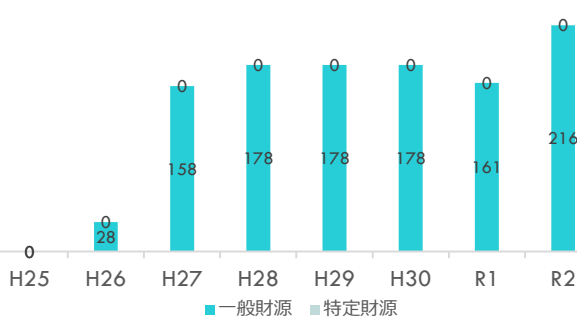


社会教育課

経常的経費の財源(万円)



臨時的経費の財源(万円)



普通建設事業費の財源(万円)

なし



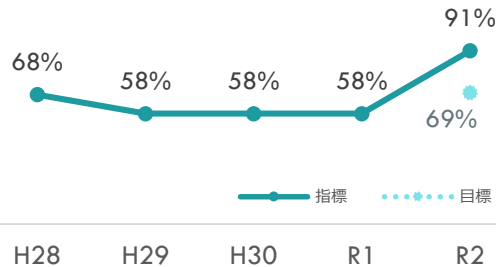
現状と課題

核家族化、少子化、ライフスタイルの変化等による家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。地域の人間関係が希薄になったことにより、周囲から子どものしつけについて学ぶことができず、子どもへの接し方や教育の仕方がわからないなど子育てに自信が持てない親が増えています。また、「子どものしつけは学校や保育サービスで」と考えている親もいることから、家庭教育に関する学習機会を設けるとともに、子育て家庭を地域全体で支援していく必要があります。

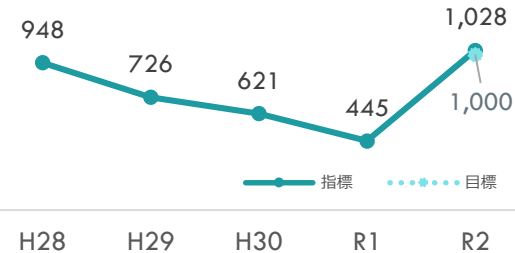
青少年を取り巻く環境は社会背景と相まってめまぐるしく変化しており、いじめ・不登校、少年非行、有害情報の氾濫など、青少年が抱える問題は、複雑かつ多様化しています。これらの課題を明らかにするため、学校をはじめ関係機関との情報交換を緊密に行い、街頭巡回に積極的に取り組むなど連携して健全育成に取り組んでいく必要があります。

成果指標

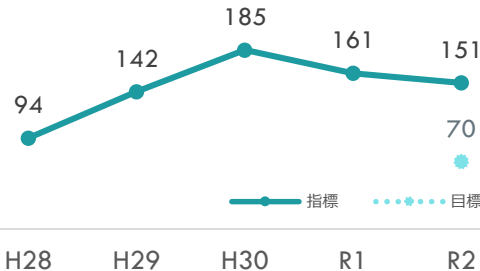
家庭教育についての研修会へ参加する人の割合 (%)



白ポスト設置による有害図書の回収件数 (件)



青少年育成センターへの相談件数 (件)



指標の説明・・・

こども園や小学校等における家庭教育についての研修会へ参加する人の割合を記載しています。

課題に対する主な取組

課題	課題に対する主な取組	概要	臨経区分	予算執行(万円)	特定財源(万円)	アウトプット(どのくらいの事業や取組を行ったか)	アウトカム(どれだけの成果が得られたか)
子育てに関する悩みの解消	親育ち事業	子育て世代を対象とした研修会	経常的経費	10万円	-	参加者数:計167名(全9回)	アンケートによる参加者満足度97%
子育てに関する悩みの解消	子育て懇談会開催事業	子育て世代を対象とした研修会	経常的経費	5万円	-	参加者数:49名(1回)	アンケートによる参加者満足度97.7%
非行の引き金事案の摘み取り	有害図書回収事業	駅に白ポストを設置し有害図書を回収	経常的経費	20万円	-	実施回数:96回(月1回×8ヵ所)	回収件数:1,028件
地域のひととの良好な関係づくり	通学時あいさつ運動	児童、生徒の安全安心を確保	経常的経費	20万円	-	実施回数:385回(登校時35回、下校時350回)	学校への善行事案報告回数 激励賞の授与件数:3件
地域のひととの良好な関係づくり	育成大会開催	青少年の健全育成に関する普及啓発	経常的経費	28万円	-	大会参加者数:202人	アンケートによる参加者満足度(R2未実施)
非行の引き金事案の摘み取り	店舗巡回	青少年の非行等の把握	経常的経費	育成センター 人件費外	-	巡回店舗数:78箇所	報告された非行内容・件数:0件
非行の引き金事案の摘み取り	非行防止活動	各種イベント会場での補導、広報誌発行	経常的経費	20万円	-	イベント動員数:0人	報告された非行内容・件数(コロナ禍により活動機会なし)

施策の評価

一次評価者	役職	社会教育課長	備前市青少年育成推進本部、警察、学校、地域の皆さんと連携して、相談活動・啓発活動・補導活動を地道に行いましょう。また、青少年の普段の善行に対し、これを認め励ます「激励賞」を贈呈し、子どもたちの前向きな取り組みを伸ばす支援を続けましょう。家庭教育の充実については、保護者の参加率の向上を目指して「親育ち応援事業」を続けましょう。子ども情報誌「ときめきナビ」では、親子が一緒に多くの体験ができるよう啓発しましょう。
	氏名	波多野 靖成	
二次評価者	役職	教育部長	令和2年度、コロナ禍にあったものの各事業を継続実施し、次年度につなぐことができました。本施策は、各取組を系統的に継続実施することで、多様化する家庭や地域の子育て支援及び青少年の健全育成につなげていくことを目的としており、多くの関係者の理解と日常的な協力によって支えられている。今後も、学校をはじめ関係機関との十分なる連携と情報交換を図りながら、より多様な情報発信に努めていく必要がある。
	氏名	石原 史章	